古石ひでさと4期目に向かっての議会活動

古石 ひでさと後援会だより

URL：http://古石.com/

第３０７８号
発行日　令和２年３月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２６－２２２６

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

東京五輪来年７月２３日開催に

五輪 来年7月23日開幕

IOC、日本側と合意
マラソン札幌開催へ

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、史上初めて来年に延期となった東京五輪・パラリンピックについて、大会組織委員会は30日、新たな大会日程を発表した。五輪は7月23日から8月8日、パラリンピックは8月25日から9月5日に開催する。組織委、国際オリンピック委員会（IOC）、東京都、政府の4者が30日に合意し、IOCの臨時理事会でも承認された。基本的な競技の開催計画は変えない方針で、五輪のマラソンと競歩も予定通り、大会当初に札幌で行う見通し。（大矢太代、酒井聡平、木村直人）

東京五輪・パラリンピックの新たな大会日程が決まり、記者会見する組織委の森喜朗会長＝30日夜、東京都中央区

新型コロナウイルス感染症と東京五輪を巡る経過

- 2020年2月4日 ▶ 東京五輪・パラリンピック組織委員会が対策本部を設立
- 27日 ▶ 国際オリンピック委員会（IOC）のバッハ会長が五輪を予定通り実施するため全力で準備する意向を表明
- 3月12日 ▶ ギリシャで無観客の聖火採火式。トランプ米大統領が東京五輪の1年延期を提案
- 16日 ▶ 安倍晋三首相が先進7カ国（G7）首脳の緊急テレビ電話会議で五輪の「完全な形での開催」を呼び掛ける
- 17日 ▶ IOCが臨時理事会、国際競技連盟との合同会議で予定通りの開催を確認
- 19日 ▶ バッハ会長が米紙に「違うシナリオ検討」と五輪の通常開催以外の可能性に言及
- 20日 ▶ 日本に聖火到着
- 22日 ▶ IOCが臨時理事会、開幕延期を含めて検討し、4週間以内に結論を出す新方針を発表
- 24日 ▶ 安倍首相とバッハ会長らが電話会談。東京五輪の1年程度の延期で一致。その後のIOC臨時理事会で正式承認
- 30日 ▶ 来年7月23日～8月8日の新日程で合意

パラは8月24日から

マラソンと競歩の札幌開催について、東京都の小池百合子知事は30日の記者会見で、「暑さ対策としての札幌移転だった。そのままは、IOC内や一部の国際競技連盟（IF）から、東京の酷暑を避けるため、春開催を求める声もあった。しかし、世界的な新型コロナウイルス感染の終息が見通せない中、組織委と都、政府は、開催までの準備期間を少しでも長く確保する狙いから、夏開催を1IOCなどと調整、来年7～8月に計画されている水泳や陸上の世界選手権は、IF側が五輪延期に伴う日程変更に柔軟な姿勢を示しており、7月開催で決着した。

新たな日程は、当初計画の日程と同じ期間とすることで、これまで各競技で積み上げた開催計画を流用できる。感染拡大で代表選考競技会が開けない状況が続いており、選考方法の変更も検討する。

関連ニュース

- ▼再始動へ速攻決着
- ▼各国一斉に連絡
- ▼選手「目標見えた」
- ▼札幌市民期待

31 22 9 3

市民「廃線影響ない」

代替バス倍増、車利用も

夕張支線廃止1年

【夕張】JR石勝線夕張支線（新夕張～夕張、16・1キロ）が廃止され、4月1日で1年となる。JR北海道の支援金を原資として、地元の夕鉄バスが代替バスを運行し、運行本数は1日5往復だった廃止前の倍の10往復。市民からは「廃線になっても何も影響はない」との声が多く聞かれる一方、JRの支援金は20年間分に限られ、将来の代替バス運行は楽観できない状況だ。（志村直）

旧JR夕張駅前を走る代替バス

JR支援20年間／跡地利用も課題

旧夕張駅前の喫茶店「和」店主の中本満さん（73）は、廃線1年を振り返り「当初覚悟も観光客も大半が車で来るから、客足は廃線前と変わらないと踏んだ。夕張支線は2016年度に1億8800万円の赤字を出すなど、慢性的な収支不足が続き、当時の鈴木直道市長（現道知事）が代替バスの運行支援と引き換えに廃線を提案。JRが夕張市に19年度から20年間の支援金として7億5千万円を拠出し、市は鉄道と比べて割高となるバス運賃を抑える「和」店主の中本満さん（73）は、廃線1年を振り返り「当初覚悟も観光客も大半が車で来るから、客足は廃線前と変わらないと踏んだ。夕張支線は2016年度に1億8800万円の赤字を出すなど、慢性的な収支不足が続き、当時の鈴木直道市長（現道知事）が代替バスの運行支援と引き換えに廃線を提案。JRが夕張市に19年度から20年間の支援金として7億5千万円を拠出し、市は鉄道と比べて割高となるバス運賃を抑える

代替バスは昨年4月1日から、新夕張駅から旧夕張駅を通り、市石炭博物館に至る21・7キロを走る。鉄道時は5駅だったが、バスは停留所43カ所。札幌への通院など利用する市内の鉄道ユーザーさん（73）は「JRに慣れ親しんでいるので、バス停も家の近くにないと、むしろ不便になった」と話す。

夕鉄バスによると、代替バスの1日当たりの乗客は平均255人（19年12月）で、廃線前に鉄路を走っていた市内路線の約2300人（18年12月）を上回る。JRの乗客の一部を取り込んでいる形だが、市では急増に人口減が進む上、全道的なバス運転手の不足もあり、市は「20年後を待たずに廃線することもありうる」と読める。

線路の跡地利用も課題となっている。JRは路盤の撤去として、線路に車や人が入らないよう柵を設けるなど

緊急事態宣言、都市封鎖 ある？

国民不安 広がるうわさ

新型コロナウイルスの感染拡大を巡り30日、政府による緊急事態宣言やロックダウン（都市封鎖）があるとのうわさがインターネット上や国会議員の間で広まった。政権内にはなお宣言に慎重論があり、実行した場合も海外のような強制的な都市封鎖は難しい。国民の不安心理の表れとみられ、政府は鎮静に努めた。

菅義偉官房長官は同日の記者会見で、4月1日に宣言を出すとのうわさについて「必要な状態ではない。手続きに入った事実もない」と語った。2日に都市封鎖があるとの情報も否定。安倍晋三首相も30日の自民党役員会で「デマだ」と述べた。

うわさは東京都の急速な感染者増が影響したようだ。小池百合子知事が会見で強調した「都市封鎖」との言葉が独り歩きし、外出が厳しく制せられる海外の様子が盛んに報じられていることも背景にある。

加藤勝信厚生労働相や西村康稔経済再生担当相は周囲に緊急事態宣言の可能性を漏らすが、引き締めが狙いとの見方があり、菅氏も宣言に否定的だ。政府高官は「これ以上、不安をあおれば経済は死ぬ」と話す。

新型コロナ特措法では首相の緊急事態宣言発令で、対象区域がある都道府県の知事が外出自粛を要請できるが、海外のように罰則付きで取り締まることはできない。（古田夏也）

鎮静に躍起 首相「デマだ」

管内特別交付税4.5％減

19年度 除排雪費など減り129億円

2019年度の特別交付税の3月分交付額が決定し、30日に交付された。昨年12月分を合わせた空知管内24市町の総額は129億9800万円で、前年度比4・5％減となった。

特別交付税は、災害や過疎対策などの財政需要に対し、国が12月と3月に支給する。管内24市町の3月分の交付額は96億2100万円。自治体別では芦別市、滝川市、奈井江町、北竜町が前年度よりも増額したものの、それ以外はいずれも減額となった。

空知総合振興局によると、19年度の総額が前年度を下回った主な要因は、少雪で除排雪費が減少したことが大きく、地域おこし協力隊員の人員減で活動費が減ったことなども影響した。

一方、増加率がいずれも5・8％だった奈井江町と北竜町は、高齢者世帯のごみ出し支援にかかる経費や、野生動物による農業被害を防ぐための防護柵の設置費用などが増加した。

自治体別の総額は、岩見沢市が同9・9％減の15億7100万円でトップ。次いで夕張市が同1・7％減の15億4200万円、三笠市が同2・5％減の11億1600万円だった。（渡辺拓也）

空知管内の24市町の2019年度の特別交付税交付額

市　町	交付額	増減率
夕張市	1,542	▲1.7
岩見沢市	1,571	▲9.9
美唄市	1,056	▲9.4
芦別市	716	2.6
赤平市	930	▲2.4
三笠市	1,116	▲2.5
滝川市	830	1.8
砂川市	767	▲2.2
歌志内市	641	▲3.5
深川市	753	▲0.7
南幌町	353	▲8.3
奈井江町	221	5.8
上砂川町	203	▲8.9
由仁町	271	▲5.3
長沼町	305	▲8.8
栗山町	338	▲8.6
月形町	184	▲9.2
浦臼町	149	▲9.6
新十津川町	173	▲9.5
妹背牛町	138	▲9.9
秩父別町	117	▲8.8
雨竜町	105	▲9.6
北竜町	164	5.8
沼田町	343	▲9.5
合　計	12,998	▲4.5

※交付額の単位は100万円、増減率は％、▲はマイナス

市立病院整備へ

建設準備室新設

岩見沢市

【岩見沢】市は30日、4月1日付人事を発表した。新たな市立総合病院の整備に向け新病院建設準備室を新設する一方、人事発令数は前年度比92件減の98件にとどまった。松野哲市長は記者会見で「新型コロナウイルス対策を最優先課題としたため、人事異動は最小限にとどめた」と述べた。

岩見沢市人事（4月1日）▽総務部長兼北村支所長兼栗沢支所長（議会事務局長）山吹聡▽健康福祉部長兼国保医療助成課長事務取扱（健康福祉部健康福祉推進担当次長）永井亘▽農政部北村産業振興課長事務取扱兼栗沢産業振興課長事務取扱　農政部長管星栄二▽建設部長（総務部付＝桂沢水道企業団派遣）土屋良▽水道部長（総務部新庁舎整備担当次長）佐久間勉▽総務部付＝桂沢水道企業団派遣（監査委員事務局長）川原卓也▽企画財政部契約検査管理課長（企画財政部契約担当主幹）倉田直満▽健康福祉部高齢介護課長（健康福祉部高齢介護課主幹）薄井元貴▽健康福祉部保護課長（健康福祉部福祉課主幹）寺西拓也▽建設部建築課長を兼務　総務部新庁舎整備室幹池田文隆▽北村支所総務課長兼選挙管理委員会事務局主幹（栗沢支所総務課主幹）土田義昭（3月31日）▽退職　総務部長吉村明芳、健康福祉部長石崎健治、建設部長平井尚幸、水道部長瀬尾裕明、北村支所長寺島直樹、栗沢支所長堀博幸、企画財政部契約検査管理課検査担当主幹坂口暢明、健康福祉部高齢介護課長堀内たまき、健康福祉部国保医療助成課長竹村浩一、健康福祉部保護課長湯浅伸一、農政部北村産業振興課長北村典夫、農政部栗沢産業振興課長石田浩基、北村支所総務課長水谷忠雄

岩見沢市立病院人事（4月1日）▽医務局耳鼻咽喉科診療部長事務取扱　副院長上泉洋▽副院長（医務局長）佐藤俊哉▽医務局長兼内科診療部長事務取扱（医務局内科診療部長）上村明▽医務局内科診療部長（医務局内科医長）原豊道▽医務局外科診療部長（医務局外科医長）河合朋昭▽医務局整形外科診療部長　馬場力哉▽看護部長（医療安全対策室長）小林紀子▽看護部看護科長（看護部看護科看護師長）谷郁代▽看護部看護科長（看護部看護科看護師長）柳谷裕子▽医療安全対策室長（看護部看護科長）佐々木雅一▽事務部新病院建設準備室長（市総務部職員課行政管理担当主幹兼管理課主幹）石塚良寛（3月31日）▽退職　副院長鈴木章彦、看護部長中野和美

岩見沢市教委人事（4月1日）▽教育部図書館長事務取扱教育部長井筒亨

岩見沢市議会事務局人事（4月1日）▽事務局長（企画財政部契約検査担当次長）小林昇

岩見沢市選挙管理委事務局人事（4月1日）▽事務局主幹を兼務　北村支所総務課長土田義昭

岩見沢市監査委員事務局人事（4月1日）▽事務局長（教育部図書館長）杉原理美

岩見沢地区消防事務組合人事（4月1日）▽岩見沢消防署岩見沢署通信救急一課長（岩見沢消防署岩見沢署通信救急一課主幹）永田裕一▽岩見沢消防署岩見沢署通信救急一課主幹（岩見沢消防署岩見沢署消防一課主幹）岡本学▽岩見沢消防署岩見沢署通信救急一課長（岩見沢消防署岩見沢署消防一課長）武田裕志▽岩見沢消防署岩見沢署消防一課長（岩見沢消防署岩見沢署通信救急一課長）竹中雅文▽岩見沢消防署岩見沢署消防一課主幹（岩見沢消防署岩見沢署北支署主幹）谷岡充洋▽岩見沢消防署岩見沢署北支署主幹（岩見沢消防署岩見沢署北支署警防係長）田口雅博（3月31日）▽退職　岩見沢消防署岩見沢署通信救急一課長新堂重光

桂沢水道企業団人事（4月1日）▽企業局長（岩見沢市監査委員事務局長）川原卓也